

はままつ文化サポート対象事業

実施団体名	乾 久子		
事業名	くじびきドロ잉報告展 これまでのことこれからのこと		
実施年月日	平成 30 年 3 月 9 日（金）～平成 30 年 3 月 18 日（日）		
実施場所	鴨江アートセンター 104 室	実施回数	10 日間
入場料	無料		
事業内容	<p>展示 くじびきドロ잉これまでの作品 約 3000 点 くじびきドロ잉ワークショップ風景の記録写真 A3 パネル 20 枚 くじびきドロ잉名作集（手製本）8 冊 これまでに生まれたことば（全） くじびきドロ잉の歌を会場に流す</p> <p>ワークショップ 会場内で随時くじびきドロ잉ができる 自分の作品を貼り出し、言葉を残すことで、企画に参加する</p> <p>くじドロカフェ 104 室の特長を生かし、くじびきにからめたカフェを開き、市民との交流をはかる くじびきコーヒー、くじびきカレー、くじびきスイーツ</p> <p>シンポジウム 「ワークショップの可能性 地域社会にもたらすこと」 藤浩志（秋田公立美術大学教授） 青木明子（鴨江アートセンター）</p>		
波及効果	<p>*くじびきドロ잉のこれまでの作品を見、これまでのワークショップを知り、実際に体験することで、地域の人が、子ども会、老人会、各種イベントなど身近なところでくじびきドロ잉をやってみたいと思うこと</p> <p>*くじびきドロ잉によって、アートのもつやわらかさと楽しさを実感し、地域の人が社会の中のアートの意義を理解してくれること</p>		
事業費総額	511000 円		
助成金額	300000 円		